

電話機の挿入

Cisco Unified CallManager データベースに電話機、Cisco VGC Phone、CTI ポート、または H.323 クライアントを追加する手順は、次のとおりです。

始める前に

- 追加するデバイスには、Cisco Unified CallManager Bulk Administration (BAT) 電話機テンプレートが必要です。
- 電話機または他の IP テレフォニー デバイスに固有の詳細を含むカンマ区切り値 (CSV) 形式のデータ ファイルが必要です。
- トランザクションのための該当ターゲットと機能を選択するデータ ファイルをアップロードします。
- 電話機を挿入する前に、電話機レコードを確認します。

その他の項目

詳細については、[P.6-3](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

Cisco Unified CallManager への電話機の挿入

次の手順を使用して、電話機を Cisco Unified CallManager に挿入します。

手順

ステップ 1 Bulk Administration > [電話] > [電話の挿入] の順に選択します。

[電話の挿入 (Insert Phones Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 [電話固有の詳細の挿入 (Insert Phones Specific Details)] オプション ボタンをクリックし、カスタマイズされたファイル形式を使用する電話機レコードを挿入します。ステップ 4 と 6 に進みます。

ステップ 3 [電話のすべての詳細の挿入 (Insert Phones All Details)] オプション ボタンをクリックして、[すべての詳細] オプションを使用して生成したエクスポート電話機ファイルから電話機レコードを挿入します。

ステップ 4 [ファイル名 (File Name)] ドロップダウン リストボックスで、この特定のバルク トランザクション用に作成した CSV データ ファイルを選択します。[カスタム CSV ファイルを使用した電話の更新の許可] チェックボックスをオンにして、選択したカスタム ファイルを使用して電話機を更新できるようにします。

ステップ 5 [既存の設定の上書き (Override the existing configuration)] チェックボックスをオンにすると、既存の電話機の設定が、挿入するファイルに含まれている情報によって上書きされます。

ステップ 6 [固有の詳細] オプションを選択した場合は、[電話テンプレート名 (Phone Template Name)] ドロップダウン リスト ボックスで、このタイプのバルク トランザクション用に作成した BAT 電話機テンプレートを選択します。

CSV データ ファイルに個々の MAC アドレスを入力しなかった場合は、[ダミー MAC アドレスの作成 (Create Dummy MAC Address、CTI ポートの場合は、ダミーデバイス名の作成)] チェックボックスをオンにする必要があります。CTI ポートを追加する場合、ダミー MAC アドレス オプションを使用すると、ダミー MAC アドレスの形式で、CTI ポートごとに固有のデバイス名が指定されます。

このフィールドは、XXXXXXXXXXXX という形式でダミー MAC アドレスを自動生成します。X は任意の 12 文字の 16 進数 (0 ~ 9 および A ~ F) を表します。

- ユーザに割り当てられる電話機の MAC アドレスが分からない場合に、このオプションを選択します。電話機が接続されると、そのデバイスに対する MAC アドレスが登録されます。
- データ入力ファイルに MAC アドレスまたはデバイス名を指定した場合は、このオプションを選択しないでください。

Cisco Unified CallManager の管理ページにこの情報を手作業で入力するか、または、Unified CM Auto-Register Phone Tool を使用すると、後で、電話機またはデバイスを正しい MAC アドレスで更新できます。Unified CM Auto-Register Phone Tool の詳細については、P.52-2 の「Cisco Unified CM Auto-Register Phone Tool の概要」を参照してください。ステップ 9 に進みます。

ステップ 7 Job Information 領域に、ジョブの説明を入力します。

ステップ 8 Run Immediately オプション ボタンをクリックして電話機レコードを即座に挿入するか、Run Later をクリックして後で挿入します。

ステップ 9 [送信] をクリックして、電話機レコードを挿入するジョブを作成します。

ステップ 10 [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] ウィンドウで、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。

ジョブの詳細については、第 51 章「ジョブのスケジュール」を参照してください。

ログファイルの詳細については、P.54-4 の「BAT ログ ファイル」を参照してください。

その他の項目

詳細については、P.6-3 の「関連項目」を参照してください。

関連項目

- [電話機テンプレート](#)
- [電話機のファイル形式](#)
- [ファイルのアップロードとダウンロード](#)
- [電話機レコードの確認](#)

